

# ホタル通信

HP: <http://www.oyama-hotaru.com/>

No.75 2009.12.3  
小山のホタルと自然を守る会  
事務局  
町田市小山町2485-30  
Tel:(\*\*\*)-(\*\*\*)

謹んで 井上会長の  
ご冥福をお祈りします。



在りし日の井上会長(2007年5月5日谷戸作業日)

慎んでお悔やみ申し上げます。

副会長 藤田 寿

小山ではホタルの飛び交う谷戸が多数あったが、多摩ニュータウンの開発でつぶされたしまった。かろうじて開発から逃れられた片所谷戸は、小山でホタルの飛び唯一の谷戸となった。

この片所谷戸のホタルを子どもや孫の代迄も生息できる様に環境を整えるため、井上誠一氏は“小山のホタルと自然を守る会”を作り、先頭に立って草刈り、清掃を行い、町田市に自然公園として保存できる様にお願いしてきました。

平成4年には、日本に100本位しかないと言われる新種ホシザクラ(絶滅危惧種 1A 類)が発見され、当片所谷戸には49本有ることが分かりました。

この自然豊かな貴重な片所谷戸が自然公園として保存出来る様にお願いしながら道半ばにしてた倒れてしまった事、当人にとっては断腸の思いだったと推測されます。

残された我々は会長の意思を引き継ぎ頑張っていきたいと思います。

謹んでお悔やみ申し上げます。

井上会長を偲ぶ

菅原信明

草花が好きだった会長が、谷戸の落ち葉の如く風にのり散ってしまい、信頼していた大樹を失いましたことは、まことに痛恨の至りであります。

常に温顔をたたえておられました。その裡には熱き情熱と、正義感をようとしており、敢然として事にあたられ、自然保護活動に邁進されました。地元はもとより全国規模までに社会的影響を及ぼす原動力に、ご尽力賜りました。道半ばとはいえ、ひとえに、会長の並々ならぬ強い思いが功を奏して、この功績は誠に言葉に尽くしがたいものがあります。

多摩丘陵の一角にある町田『片所谷戸』では、多様な生き物がすみ、緑豊かな典型的な里山で、小さな谷戸ですが、世界でわずか100株しか自生していないという、新種のホシザクラ(絶滅危惧1A類)が、この地に50株以上が群生しているところ。また、ホタルの発生する一筋の川には、清流のシンボルともいえるホトケドジョウ(絶滅危惧1B類)やシマアメンボウなどが戯れています。昨年、朝日新聞全国版に掲載された『世界級の里山守れ 新種ホシザクラなど希少生物』の報道に大きな反響がありました。最近では日経エコロジー11月号に『里山開発 高まるCSR(企業の社会的責任)』のテーマで、片所谷戸の記事が大きく取りざたされています。全国的規模まで注目を集めるようになり、益々生物多様性に関心を高められています。

会長が誰よりも情熱を傾け、その一生を捧げられた『小山のホタルと自然を守る会』を更に発展させることを心から誓うものであります。

願わくば、末永く会の行く手をお見守りください。ここに在りし日の井上会長を偲んで、心から哀惜申し上げます。謹んで御冥福をお祈り致します。

谷戸の整備をします。

3号緑地の下草刈り及びサクラの木の周りの竹きり等緑地の整備をします。次のご参加下さい。

日時：12月13日(日) 9:30~12:00

(雨天延期)

集合場所：片所谷戸ベンチ前

仕事：下草刈り、竹の整理等

持ち物：かま、刈込み鋏(有る人)、草刈機(有る人)等なた、のこぎり等も多少使います。

## 故井上誠一会長と

### 片所谷戸保全への主な取組み

#### 1、「小山のホタルと自然を守る会」の結成

「小山のホタルと自然を守る会」は、自然に親しみ、ホタルの飛び交う片所谷戸とその周辺の自然を守り育てるために、1998年8月に、第二区町内会の会員を中心に結成された。

1998年10月 通信「片所の自然」が出された。

#### 2、谷戸の整備及び自然観察会、行政への要望

1999年3月 井上誠一会長の呼びかけにより、「小山のホタルを守る集い」が開催され、町内の自然学習会が行われると同時に、市への要望書提出、ホタル観賞の夕べ開催が決められた。

5月 寺田市長宛要望書「片所谷戸のホタルの生息保護について」(第二連合町内会会長及び寿山会会長、小山のホタルと自然を守る会会長連名)を提出し、話し合い

6月 小山ホタル通信NO.1

6月 谷戸の整備及び自然観察会、以後毎年3～5回

6月 初めてのホタル観察会、以後毎年ホタル観察会

2000年10月 市長宛要望書「片所谷戸のホトケドジョウ・ホタルの生息保護について」を提出

2001年1月 市長より「都の『里山保全地域』への働きかけ」の回答

9月 東京都南多摩整備事務所と片所谷戸の整備について話し合い、以後数回話し合い

#### 3、墓地建設計画反対の取組み

片所谷戸に墓地建設の計画が持ち上がり、町内会と協力して、業者・住職・保健所・市役所等へ建設撤回の交渉に当たった。また、署名請願活動にも取り組んだ。

2001年12月 連合町内会より市長宛「墓地建設計画の撤回を求める」陳情書提出

12月 市議会へ町内会長名で「墓地建設計画に反対し、緑豊かな環境づくりを求める請願」を提出、12月21日に請願採択

2002年2月 東京都知事へ署名を添えて「墓地建設反対」の意見申し出

2月 京王電鉄株式会社へ要望書提出

6月 町田市より「墓地建設計画を撤回させ、片所谷戸の自然を守り、『里山保全地域』の推進を求める陳情について」回答

7月 東京都多摩都市整備本部へ要望、これより数回にわたり要望・協議

(墓地は、場所を移して、建設されることになった。)

#### 4、ホシザクラ・ヤブザクラ発見、247種の植物の記録

2003年3月 ホシザクラ・ヤブザクラのことが朝日新聞に掲載、片所谷戸においても発見

7月 東京都多摩都市整備本部へ「片所谷戸自然保護」について要望、協議、京王電鉄株式会社常務取締役役に要望、直ちに市(緑政部課長)へ経過報告、市も京王と交渉を開始

2004年2月 市長宛要望書「片所谷戸の自然保護について」を提出、7月 市長より回答

2005年10月 助役に市宛要望書「片所谷戸の自然保護について」を提出 助役、部長へ直ちに指示

2006年4月 ホシザクラ、ヤブザクラ約100本の群生を確認、植物247種を確認

4月 石阪市長宛要望書「片所谷戸の自然保護について」を提出、

5月 市への売却について京王不動産と交渉

#### 5、総会開催 2007.4.15 於小山市民センター

2007年4月 3号緑地、4号緑地、5号緑地、片所北緑地、片所緑地の清掃管理を始める。谷戸の下草刈り等の整備 およそ毎月行う。

6月 市長へ片所谷戸保全について要請

ホタル観察会 地域住民を中心に80名程参加

7月 小山小学校 谷戸観察会 この日を含め4年生を中心に数回にわたり訪問、案内

2008年3月 東京都へ「片所谷戸の自然保護について」の要望書提出、話し合い

3月 小山市民センター祭、片所谷戸写真展示

3月 都へ「片所谷戸の自然保護について」要望書提出

#### 6、2008年5月「小山片所土地区画整理事業」が計画され、京王、市、都への交渉を強化

4月 定期総会

5月 「小山片所土地区画整理事業」説明会へ出席

5月 東京都環境部、片所谷戸視察、12月には東京都環境局長片所谷戸視察

6月～7月 ホタル観察会(延約300人の観察者)

6月 京王電鉄KK代表取締役社長へ「片所谷戸自然保護」につき手紙

7月 市長に要望書を提出し、「片所谷戸の自然保護」につき要望

7月 「世界級の里山守れ」朝日新聞(夕刊関東版)報道、東京新聞「ホシザクラ保全を」報道

7月 東京都知事に要望書を提出し、環境局長に「片所谷戸の自然保護」につき要望

#### 7、片所谷戸保全請願署名を町田市議会へ提出

8月 小山連合町内会・各自然保護団体・子ども会等へ請願署名について相談

9月 「片所谷戸の自然を保護し、緑豊かな環境づくりを求める請願」の署名活動

12月19日 11,321名の請願署名全会一致で採択

市長 片所谷戸保全について具体的答弁

2月 小山市民センター祭展示

3月～4月 サクラ観察会 延約300来訪

<この間、井上会長は手術をされ、病氣療養中でありましたが、病氣を押して、谷戸整備等の活動に参加されていました。>